



「無駄な経験は一つもない」と信じて

校長 四家 薫

やわらかな陽光と温もりに春の訪れを感じる季節となりました。気が付けば、もう3月。今年度も残り一月となりました。

一度は収束するかに思えた新型コロナウイルス感染症も、3学期はオミクロン株が猛威を振るい、本校もほとんどの学年が学級閉鎖に追い込まれる事態となりました。2月中は、オンライン授業・ハイブリッド授業が中心になるほどでしたが、そのような中でも、各学年の校外学習や出張授業等を、感染対策を講じた上で無事に実施できたことがせめてもの救いでした。特に卒業する6年生にとっては、残り少ない小学校生活で、友達と共に「非日常」を味わう貴重な機会でしたので、実現できて本当に安堵しました。

そうは言っても、卒業を目前に控えた6年生やその保護者の皆様にとっては、「コロナ禍でなければ…」と様々な思いが去来し、無念さを拭い去るのは難しい1年だったかもしれません。私たち教員も同じ思いですが、それでも、日々の学校生活を充実させようと工夫し、不平不満を言わずに努力する姿や、学芸会などの大きな行事での結束力を見ると、下級生に見習ってほしいと思うような確かな成長を感じ取ることができました。今の生活を「やむなし」と受け入れ、健気なまでに、今できることを精一杯がんばる6年生を見てみると、11年前の、丁度今頃の出来事を思い出します。

* . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . *

11年前—。東日本大震災直後のことです。私が当時勤務していた学校は、都内でも数少ない計画停電があった地域で、夕方になると2～3時間、信号機も自動販売機も、当然、その地域一帯の家々の電気も全て消え、街中が真っ暗になることが2週間ほど続きました。当時6年生の担任をしていた私は、中学校へ送る書類作りのために、計画停電中も職員室の机の周りに懐中電灯を3個ほど並べ、その灯りで仕事をするなど、とても不便な生活をしていました。子供たちも、各家庭で暖房器具も使えず暗闇で生活するような時間帯が毎日あったのです。

連日テレビには、被災地のショッキングな映像が流れ、余震の心配等がある中、家庭も学校も無事に卒業式を迎えられるだろうかと大きな不安を抱えていました。

あと1週間で卒業式というころ、教え子の数人から、「卒業文集を書き直したい。」という申し出がありました。「当たり前だと思っていたことが、そうではなかった。きちんと感謝すべき人に感謝の気持ちを伝えておきたい。これから自分がどう生きるか、今感じているこの思いをきちんと残しておきたい。」という趣旨でした。まだ入稿前でしたので、原稿の差し替えは無事にできましたが、わずか数日の間に子供たちの内面が大きく変わったことに驚かされ、急に大人になったように感じたのです。

* . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . * . . . *

震災の時と今のコロナ禍を単純に比較することはできません。むしろ、今の子供たちの方が制約も多く、我慢している期間はずっと長いのかもしれません。ただ、マイナスの経験が、本人の成長にとって、そのままマイナスの結果になるとは限らないと思うのです。たくさんの我慢を強いられても努力した人たちだからこそ、数年後、それが報われる日が必ず来ると思います。「人生無駄な経験は一つもない。」と信じて、この1年間の子供たちの成長に心から拍手を送り、残り1ヶ月の学校生活がより充実したものとなるよう、支えていきたいと思えます。

3月の学校行事予定

○生活目標 感謝の気持ちを表しましょう。

●保健目標 1年間の健康生活をふり返ろう。

1	火		
2	水	B4	
3	木		安全指導
4	金	B	委員会
5	土		
6	日		
7	月		6年生を送る会（引き継ぎ式のみ実施）
8	火		
9	水		
10	木		
11	金	B	避難訓練 3.11 追悼の会 クラブ
12	土		
13	日		
14	月		卒業式練習
15	火		
16	水	B5	謝恩会
17	木		卒業式練習
18	金	B	
19	土		
20	日		
21	月		春分の日
22	火		そろばん教室(3年) 卒業式練習(6年)
23	水		そろばん教室(3年) 給食終 大掃除 卒業式予行(5年参加) 1~4年4校時まで
24	木		修了式
25	金	特	卒業式
26	土		春季休業日始
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		

感染拡大の状況によっては予定が変更になる場合があります。

空欄…A 時程、B…B 時程、C…C 時程、特…特別時程
※全校朝会は放送で火曜日に実施しています。



心も体も

大きくなった1年生



1年担任 岡朱音 竹田紗彩

入学してから、はやいもので1年が経とうとしています。この1年間、子供たちは様々な経験を通し、大きく成長しました。コロナ禍の様々な制限もある中で、できることをおもいきり頑張り、楽しむ子供たちの姿がとても印象的でした。

1年生は小学校生活の基礎を築く学年です。これから先、挨拶、返事、学習態度、学校生活の決まり等、この1年間で身に付けた多くのことに、さらに磨きをかけていってほしいと思います。2年生になって、さらに頼もしく成長し、今以上に活躍してくれることを楽しみにしています。

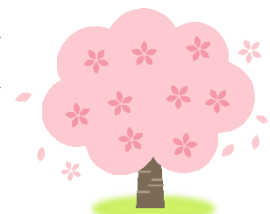
卒業する皆さんへ

6年担任 中村久幸

卒業まで、いよいよあと1ヶ月を切りましたね。さて皆さんは、根津小学校で過ごした日々を振り返ってみて、どんなことが思い出されますか？

この2年間は我慢することが多かったですが、楽しかったことや一生懸命がんばったこと、悲しかったこと、辛かったこと、きっとたくさんのお出来事が思い浮かんでくるとと思います。

卒業する日に、「このクラス、この学年の仲間と一緒に過ごせて良かった！」と思えるように、そして皆さんを取り巻く全ての方々に「立派に成長したね！」と言われるように、残りの日々をこれまでより、さらに充実したものにしていきましょう。



4月当初の予定

- 5日(火) 新年度前日準備(6年)
- 6日(水) 着任式、始業式、入学式
- 7日(木) 給食始(2~6年)
- 8日(金) 発育測定、委員会

- 11日(月) 給食始(1年)、保護者会(全学年)
- 12日(火) 歯科検診(4・5・6年)、交通安全指導(1年)
- 13日(水) 心電図(1年抽出児童)